

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2007-307379(P2007-307379A)

【公開日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-046

【出願番号】特願2007-132157(P2007-132157)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/56

A 6 1 B 17/00 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

縫合アンカーであつて：

固定装置と；

フォーク状端部及びシャフトを有するアンカー先端と、

を有し、

該アンカー先端の前記シャフトは、前記固定装置によって回転可能に係合されるため、前記アンカー先端は、前記固定装置に対してスウィベル可能である、

縫合アンカー。

【請求項2】

前記縫合アンカーは、前記フォーク状端部において捕捉される縫合の過剰な捩れ及び結節を引き起こすことなく、回転挿入を可能にするよう構成される、

請求項1記載の縫合アンカー。

【請求項3】

前記アンカー先端の前記フォーク状端部は、縫合を捕捉するよう構成される、

請求項1記載の縫合アンカー。

【請求項4】

前記固定装置は、キャニュレーテッド干渉スクリュである、

請求項1記載の縫合アンカー。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

10 縫合鎖

10a 縫合鎖10の自由端

1 0 b	ループ
1 1	縫合鎖
2 0	キャニュレーテッドドライバ
2 2	挿入ハンドル
3 0	ロッド
4 2	キャニュレーテッド本体
4 4	先端
5 0	親指パッド
1 0 5	組織捕捉器
1 0 0	ドライバ組立
1 1 0	縫合パッサー
1 1 5	パンチ
1 2 0	縫合アンカー
1 5 0	回旋筋腱板
1 5 5	骨ソケット
1 6 0	パイロットホール
2 0 0	スウィベルアンカー
2 2 5	シャフト
2 5 0	フォーク状アンカー先端
3 0 0	固定装置
4 0 0	スウィベルアンカー構造